

商工会議所 L O B O (早期景気観測)

— 平成 1 1 年 4 月 調査結果 —

(平成 1 1 年 5 月 6 日)

○ 調査期間 : 平成 1 1 年 4 月 1 9 日 ~ 2 3 日

○ 調査対象 : 全国の 3 8 9 商工会議所が 2 6 2 8 業種組合等にヒアリング
(内訳) 建設業 3 8 5 製造業 6 4 4 卸売業 2 3 9
小売業 7 5 6 サービス業 6 0 4

○ 調査項目 : 今月の売上・採算・業況等についての状況 (D I 値を集計)
及び、業界として当面する問題等

※ D I 値について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

D I = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算 : (好転) - (悪化) 売上 : (増加) - (減少)

日本商工会議所

本件担当 : 産業部 調査課 TEL: 0 3 - 3 2 8 3 - 7 8 3 6 、 7 8 4 3
E-Mail: sangyo@jcci.or.jp

なお、本調査結果は、日商ホームページ (<http://www.jcci.or.jp>)でもご覧になれます。

【平成11年4月調査結果のポイント】

景況の悪化度合い弱まりマイナス幅は8ヶ月連続縮小

- 4月の景況をみると、全産業で業況DI（前年同月比ベース。以下同じ）のマイナス幅が縮小し、全産業合計の業況DIは前月水準より3.3ポイントマイナス幅が縮小して▲45.9となった。マイナス水準での推移は平成3年4月以降97ヶ月連続、マイナス2桁水準での推移は同年9月以降92ヶ月連続となっている。業種別に見ると、建設業で年度替りの影響からマイナス幅が前月水準に比べて4.3ポイント拡大したものの、製造業で2.0ポイント、卸売業で5.3ポイント、小売業で5.8ポイント、サービス業で5.5ポイントのマイナス幅縮小となった。マイナス幅は昨年8月の最低値（▲66.9）から8ヶ月連続で縮小し、最低値に比し21ポイントのマイナス幅縮小となっている。マイナス幅の縮小に見られるように中小企業の景況の悪化度合いは引き続き弱まっており、底入れの兆しがみられるが、受注の減少や消費の低迷などを指摘する声も寄せられており確実な景気底入れには不確定な面も伺われる。

建設業では、公共工事について「工事量はある程度確保されているが、新年度工事発注が遅れているので早期発注が望まれる」など新年度公共工事の早期発注に対する期待が多い。また、「住宅建設が若干好調だが景気全体を引っ張るには力不足。公共工事も受注競争が激しく採算悪化の受注も続いている」などの声が寄せられている。製造業では、「少しずつ仕事量が増えてきた感じがする」（自動車部品）との声の一方で「受注件数は多少上向いているが単価の下落や短納期のため採算面では厳しく、先行き不透明」（家具製造）をはじめ受注単価の下落や受注ロットの縮小による採算の悪化や、納期の短期化などを指摘する声が寄せられている。卸売業では、「同業種間における企業間格差の拡大が進んでおり全体的な景況感は変わらない」「売上は前月に比べれば増加しているが前年同月比では横ばい」などの声が寄せられた。小売業では、消費の低迷に加えて、週末に雨が多かったこともあり業況は低調との声が寄せられたほか、「振興券での売上が多く先行きの資金繰りが大変になるのでないか」（商店街）といった指摘も寄せられている。サービス業では、飲食から客数の減少や客単価の下落が引き続き指摘されている。旅館からは「利用客の減少幅は縮小している」「行楽シーズンに入り、好転の兆しが伺える」との声も寄せられている。

売上面では、建設業で前月水準に比べてマイナス幅が拡大したものの、他の業種でマイナス幅が縮小したことから、全産業合計の売上DIは前月水準よりマイナス幅が4.6ポイント縮小して▲40.2となった。採算面では、建設業、製造業で前月水準に比べてマイナス幅が拡大したものの、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小したことから全産業合計の採算DIは前月水準よりマイナス幅が2.5ポイント縮小して▲44.6となった。

- 向こう3ヶ月（5～7月）の先行き見通しは全産業合計の業況DI（今月比ベース）が▲32.1と現状より好転するとの見方となっている。
- 景気に関する声、当面する問題としては建設業、建設関連の製造業を中心に新年度予算の早期執行に対する期待が多く寄せられている。

【業況についての判断】

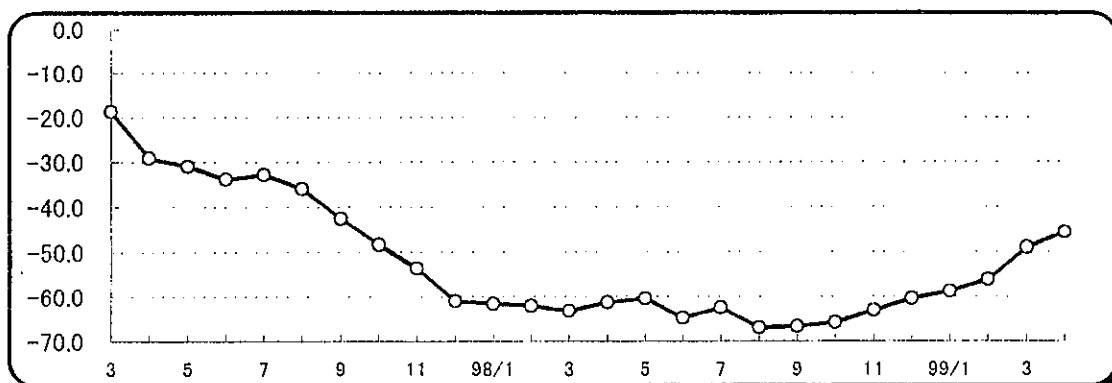
- 全産業合計の業況DIは前月水準より3.3ポイントマイナス幅が縮小して▲45.9となった。建設業で年度替りの影響からマイナス幅が前月水準に比べて4.3ポイント拡大したものの、他の業種ではマイナス幅が縮小している。マイナス幅は昨年8月の最低値(▲66.9)から8ヶ月連続で縮小し、最低値に比し21ポイントのマイナス幅縮小となっている。マイナス幅の縮小に見られるように中小企業の景況の悪化度合いは引き続き弱まっており、底入れの兆しがみられるが、受注の減少や消費の低迷などを指摘する声も寄せられており確実な景気底入れには不確定な面も伺われる。
- 向こう3ヶ月(5~7月)の先行き見通しは全産業合計の業況DI(今月比ベース)が▲32.1と現状より好転するとの見方となっている。

業況DI(前年同月比)の推移

	10年		11年				先行き見通し 5~7月
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
全産業	▲63.0	▲60.4	▲58.9	▲56.2	▲49.2	▲45.9	▲32.1 (▲52.7)
建設	▲63.8	▲57.4	▲58.6	▲53.1	▲41.1	▲45.4	▲31.7 (▲64.3)
製造	▲68.1	▲64.4	▲62.9	▲61.7	▲52.5	▲50.5	▲33.5 (▲54.5)
卸売	▲51.4	▲52.1	▲51.4	▲44.5	▲40.9	▲35.6	▲20.3 (▲50.8)
小売	▲63.3	▲60.0	▲60.6	▲57.9	▲52.6	▲46.8	▲35.7 (▲52.1)
サービス	▲60.9	▲61.8	▲55.6	▲54.8	▲49.8	▲44.3	▲31.4 (▲44.2)

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3ヶ月の先行き見通しDI
()内は昨年4月の先行き見通しDI<以下同じ>

《業況DI(全産業・前年同月比)の推移》



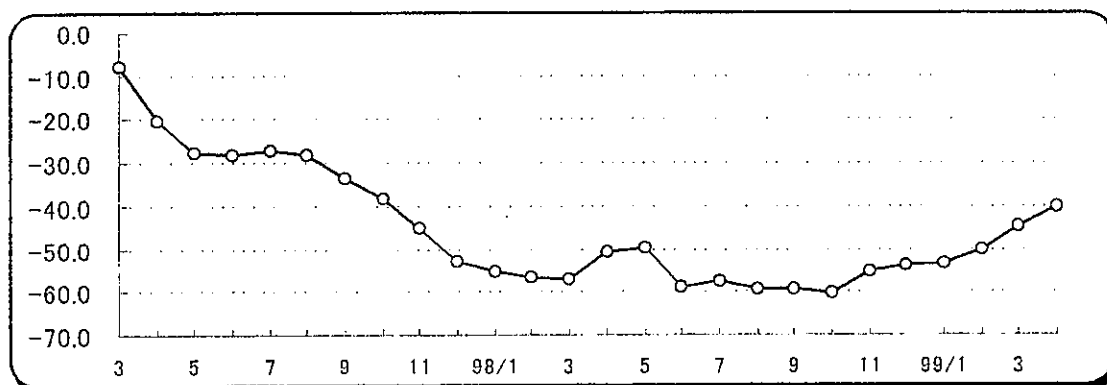
【売上（受注・出荷）の状況についての判断】

- 売上面では、建設業で前月水準に比べてマイナス幅が拡大したものの、他の業種でマイナス幅が縮小したことから、全産業合計の売上DIは前月水準よりマイナス幅が4.6ポイント縮小して▲40.2となった。
- 向こう3ヶ月（5～7月）の先行き見通しは全産業合計で▲28.5と現状より好転するとの見方となっている。

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	10年		11年				先行き見通し 5～7月
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
全産業	▲ 55.4	▲ 54.1	▲ 53.2	▲ 50.4	▲ 44.8	▲ 40.2	▲ 28.5 (▲ 45.4)
建設	▲ 56.6	▲ 50.5	▲ 50.5	▲ 45.7	▲ 27.9	▲ 36.5	▲ 31.4 (▲ 61.3)
製造	▲ 62.0	▲ 63.6	▲ 59.8	▲ 57.7	▲ 51.9	▲ 48.8	▲ 31.3 (▲ 48.4)
卸売	▲ 40.0	▲ 38.8	▲ 42.1	▲ 36.4	▲ 32.4	▲ 27.1	▲ 11.3 (▲ 34.6)
小売	▲ 53.4	▲ 48.8	▲ 54.3	▲ 51.2	▲ 52.1	▲ 37.3	▲ 32.3 (▲ 43.8)
サービス	▲ 56.1	▲ 58.5	▲ 50.8	▲ 49.8	▲ 43.7	▲ 42.1	▲ 26.2 (▲ 37.7)

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



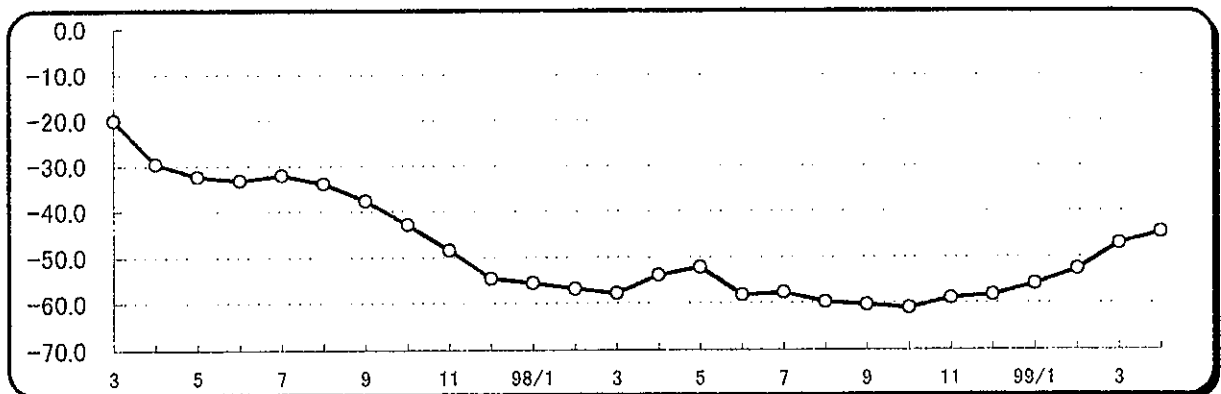
【採算の状況についての判断】

- 採算面では、建設業、製造業で前月水準に比べてマイナス幅が拡大したものの、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小したことから、全産業合計の採算D Iは前月水準よりマイナス幅が2.5ポイント縮小して▲44.6となった。
- 向こう3ヶ月（5～7月）の先行き見通しは全産業合計で▲32.7と現状より好転するとの見方となっている。

採算D I（前年同月比）の推移

	10年 11月	12月	11年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5～7月
全産業	▲ 59.0	▲ 58.2	▲ 55.9	▲ 52.7	▲ 47.1	▲ 44.6	▲ 32.7 (▲ 47.3)
建設	▲ 63.1	▲ 58.5	▲ 60.4	▲ 55.8	▲ 42.8	▲ 44.4	▲ 37.8 (▲ 62.3)
製造	▲ 63.2	▲ 65.7	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 53.7	▲ 55.1	▲ 38.0 (▲ 51.8)
卸売	▲ 46.9	▲ 46.5	▲ 44.3	▲ 35.3	▲ 36.4	▲ 32.4	▲ 20.5 (▲ 37.5)
小売	▲ 57.2	▲ 55.9	▲ 55.6	▲ 52.1	▲ 49.9	▲ 40.9	▲ 32.0 (▲ 44.9)
サービス	▲ 58.9	▲ 57.2	▲ 53.7	▲ 50.0	▲ 43.2	▲ 43.0	▲ 29.5 (▲ 39.1)

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

仕入単価D I (前年同月比) の推移

	10年 11月	12月	11年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5~7月
全産業	▲ 5.8	▲ 5.6	▲ 2.7	1.2	0.8	0.5	▲ 2.5 (▲ 3.5)
建設	0.0	2.4	2.0	6.5	3.1	3.7	1.1 (▲ 2.6)
製造	▲ 6.8	▲ 6.8	▲ 4.8	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 3.5	▲ 6.9 (▲ 9.1)
卸売	▲ 3.4	▲ 7.6	2.7	4.6	9.1	7.9	1.1 (▲ 2.7)
小売	▲ 3.6	▲ 1.3	0.7	4.4	▲ 0.2	2.7	▲ 0.4 (▲ 0.7)
サービス	▲ 12.7	▲ 14.8	▲ 10.7	▲ 2.9	▲ 1.7	▲ 3.0	▲ 4.0 (▲ 2.1)

$$D I = (\text{下落の回答割合}) - (\text{上昇の回答割合})$$

【前年同月比D I】製造業、卸売業、サービス業で上昇超感強まる。

【先行き見通しD I】全業種で上昇超の見通し。

従業員D I (前年同月比) の推移

	10年 11月	12月	11年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5~7月
全産業	▲ 18.5	▲ 18.2	▲ 16.9	▲ 16.6	▲ 17.3	▲ 15.8	▲ 11.0 (▲ 10.5)
建設	▲ 27.6	▲ 24.9	▲ 25.6	▲ 24.0	▲ 26.1	▲ 23.2	▲ 18.5 (▲ 22.0)
製造	▲ 27.4	▲ 27.8	▲ 25.2	▲ 26.1	▲ 25.6	▲ 25.8	▲ 20.8 (▲ 16.4)
卸売	▲ 21.1	▲ 15.9	▲ 18.0	▲ 11.6	▲ 15.3	▲ 13.0	▲ 5.3 (▲ 7.6)
小売	▲ 11.8	▲ 12.8	▲ 8.8	▲ 10.0	▲ 9.5	▲ 7.4	▲ 6.8 (▲ 3.6)
サービス	▲ 9.6	▲ 10.2	▲ 11.3	▲ 11.1	▲ 12.4	▲ 11.2	▲ 5.9 (▲ 6.1)

$$D I = (\text{不足の回答割合}) - (\text{過剰の回答割合})$$

【前年同月比D I】製造業を除く全業種で過剰超感弱まる。

【先行き見通しD I】全業種で過剰超感弱まる見通し。

【平成11年4月の景気キーワード】

○先行き期待

建設業からは「工事量はある程度確保されているが、新年度における公共工事の発注が望まれる」など公共工事の早期発注に対する期待が多く寄せられている（札幌、恵庭、長野、千葉、浜田、高松他）。製造業からは「先行き不透明ながら業況が上向く気配あり」（二本松・家具製造）との声や「好調な企業と低迷を続ける企業の二極化は更に広がっているものの、徐々にではあるが景気の下げ止まり感が出てきた」（静岡・家具）といった声も寄せられている。卸売業からは「衣料品、雑貨等は依然厳しいが公共事業の関連から電気資材が伸びており、全体的には先行きに明るさが見えてきた」（帯広・総合卸）、「景況はいよいよ下げ止まりではないかと期待したい」（一宮・繊維卸）といった声が寄せられている。小売業からは「振興券により売上は微増したが効果は5月の連休まで。その後はサラリーマンの所得税減税の効果に期待したい」（横浜・商店街）といった声や「昨年、一昨年と比べると上向いてきている。客単価は落ちているが客数は増加傾向にありゴールデンウィークに期待したい」（福山・大型店）などゴールデンウィーク中の売上増への期待（磐田・商店街、各務原・大型店）が寄せられている。サービス業では、旅館から「好況の気配が見えており連休が好況へのきっかけになればと願う」（観音寺、鹿児島）といった声が寄せられた。

○需要の低迷

建設業、製造業からは受注量減少、卸売業、小売業、サービス業からは客数の減少、客単価の下落など需要の低迷を指摘する声が寄せられているほか、「受注・売上は企業によって相当のバラツキが目立っている」（鹿沼・家具製造）をはじめ企業間格差の拡大を指摘する声も寄せられた（飯能・建設、新浜・産業用機械、下館・総合卸、草津・商店街、所沢・理美容他）。

○地域振興券

地域振興券の使用は「子供用品や生活必需品にまわり、予定の購入代金が振興券で支払われるかたちとなって売上増には至らなかった」（銚子、静岡、田辺・商店街、金沢、下館・大型店）など「現金」が「振興券」に替わっただけとの指摘のほか、商店街からは「振興券にかかる販促も空回り状態」（榎原）や「振興券発行に合わせて市、商業団体と共同でプレミアム付商品券を販売したが、経費を掛けた割には売上が増加していない」（吹田）などの声が寄せられた。また、「売上は前年並となっているものの振興券による売上が多く先行き資金繰りが大変になる」（那珂湊、銚子、松戸・商店街、真岡・大型店）といった懸念も寄せられている。

【景気キーワードの推移】

年 月	景気キーワード		
11年2月	需要の低迷	先行き期待	地域振興券
3月	先行き期待	需要の低迷	地域振興券
4月	先行き期待	需要の低迷	地域振興券

※景気キーワードは、調査対象組合の各月におけるトピック・関心事項などに関する自由回答をまとめたもの。

(参考)

【産業別概況】

産 業	概 況
建 設	業況・売上・採算D Iとも前月水準に比べてマイナス幅が縮小している。公共工事について「工事量はある程度確保されているが、新年度工事発注が遅れているので早期発注が望まれる」など新年度公共工事の早期発注に対する期待が多い。また、「住宅建設が若干好調だが景気全体を引っ張るには力不足。公共工事も受注競争が激しく採算悪化の受注も続いている」などの声が寄せられている。
製 造	採算D Iは前月水準に比べてマイナス幅が拡大したものの、業況・売上D Iとも前月水準に比べてマイナス幅が縮小している。「少しずつ仕事量が増えてきた感じがする」(自動車部品)との声の一方で「受注件数は多少上向いているが単価の下落や短納期のため採算面では厳しく、先行き不透明」(家具製造)をはじめ受注単価の下落や受注ロットの縮小による採算の悪化や、納期の短期化などを指摘する声が寄せられている。
卸 売	業況・売上・採算D Iとも前月水準に比べてマイナス幅が縮小している。「同業種間における企業間格差の拡大が進んでおり全体的な景況感は変わらない」「売上は前月に比べれば増加しているが前年同月比では横ばい」などの声が寄せられた。
小 売	業況・売上・採算D Iとも前月水準に比べてマイナス幅が縮小している。消費の低迷に加えて、週末に雨が多かったこともあり業況は低調との声が寄せられたほか、「振興券での売上が多く先行きの資金繰りが大変になるのでないか」(商店街)といった指摘も寄せられている。
サービス	業況・売上・採算D Iとも前月水準に比べてマイナス幅が縮小している。飲食から客数の減少や客単価の下落が引き続き指摘されている。旅館からは「利用客の減少幅は縮小している」「行楽シーズンに入り、好転の兆しが伺える」との声も寄せられている。

(参考)

【ブロック別概況】

- ブロック別の業況D I（前年同月比ベース）を見ると、全産業合計では全ブロックとも引き続きマイナス水準での推移となっている。ブロック別では、中国以外の全ブロックで前月水準を上回った。
- ブロック別の向こう3ヶ月の業況先行き見通しは、全産業合計では、引き続きマイナス水準。全ブロックで現状より上向くとの見方になっている

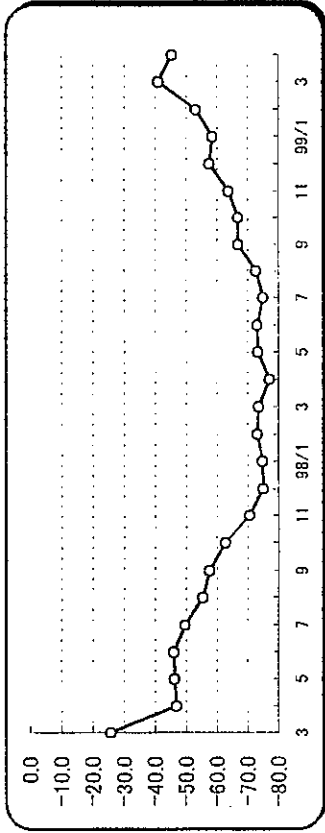
ブロック別・全産業業況D I（前年同月比）の推移

	10年 11月	12月	11年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 5~7月
全 国	▲ 63.0	▲ 60.4	▲ 58.9	▲ 56.2	▲ 49.2	▲ 49.2 45.9	▲ 32.4 (▲ 47.5)
北 海 道	▲ 58.7	▲ 54.3	▲ 55.3	▲ 44.0	▲ 34.8	▲ 29.2	▲ 20.4 (▲ 50.7)
東 北	▲ 60.3	▲ 61.0	▲ 64.2	▲ 65.1	▲ 47.0	▲ 46.1	▲ 32.9 (▲ 51.6)
北 陸 信 越	▲ 62.1	▲ 65.1	▲ 53.7	▲ 62.8	▲ 47.0	▲ 51.1	▲ 22.3 (▲ 55.8)
関 東	▲ 60.0	▲ 57.3	▲ 57.7	▲ 55.1	▲ 49.0	▲ 46.2	▲ 31.7 (▲ 42.9)
東 海	▲ 71.8	▲ 70.2	▲ 61.9	▲ 66.9	▲ 57.1	▲ 47.2	▲ 39.9 (▲ 60.0)
近 畿	▲ 66.5	▲ 62.5	▲ 69.7	▲ 61.9	▲ 54.6	▲ 53.6	▲ 38.9 (▲ 61.6)
中 国	▲ 72.8	▲ 64.7	▲ 56.8	▲ 52.8	▲ 58.2	▲ 52.9	▲ 38.8 (▲ 60.6)
四 国	▲ 62.5	▲ 57.4	▲ 62.3	▲ 53.1	▲ 51.3	▲ 47.5	▲ 37.5 (▲ 50.4)
九 州	▲ 54.9	▲ 51.5	▲ 47.7	▲ 44.5	▲ 40.3	▲ 34.2	▲ 24.6 (▲ 50.7)

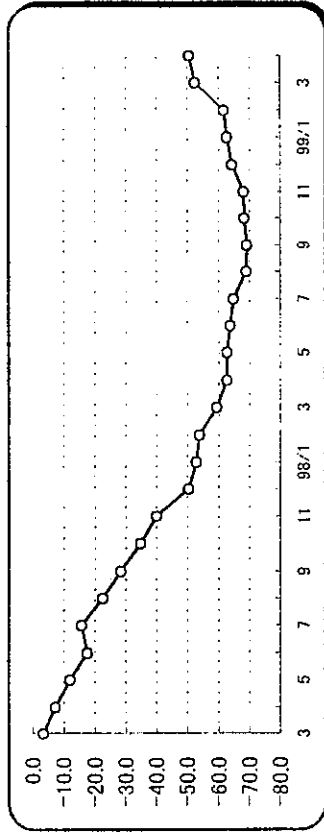
32.1

業況DI (前年同月比) の推移 (全国)

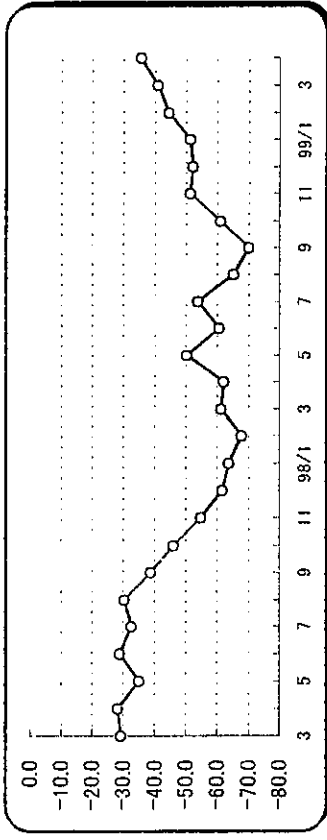
建設業



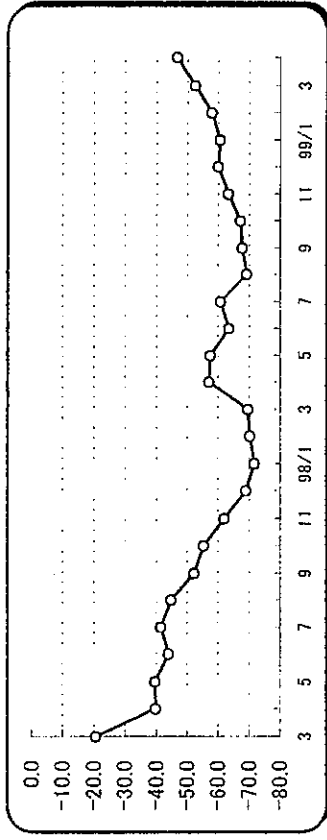
製造業



卸売業



小売業



サービス業

